

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
株式会社日本製鋼所独身寮

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		3.0	0.16	2.8	1.00			2.8
1.1 騒音		3.0	0.49	3.0	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 騒音対策			-		-			
1.2 遮音		3.0	0.34	3.5	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能			-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	5.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	2.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.17	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.36	3.3	1.00			3.1
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温設定		3.0	0.61	3.0	0.63			
2 室温変動の低減対策			-		-			
3 外皮性能		3.0	0.35	3.0	0.38			
4 ゾーン別制御性	各ゾーンごとに個別空調を採用している。	4.0	0.04		-			
5 負荷・気候制御			-		-			
6 個別制御			-		-			
7 空調の稼働に対する配慮			-		-			
8 設備の稼働			-		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	4.0	0.30			
3 光・視環境		3.3	0.21	3.1	1.00			3.1
3.1 昼光利用		4.2	0.30	3.5	0.30			
1 昼光率	集会所5. 6、住居1. 9	5.0	0.60	4.0	0.50			
2 方位別開口			-		0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 グレア対策			-		-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 照度対策			-		-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.5	0.26	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.58	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	天井裏は、F☆☆☆以上、それ以外は、F☆☆☆☆	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 化学汚染物質			-		-			
3 化学汚染物質			-		-			
4.2 換気		3.0	0.38	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能			-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 換気設備			-		-			
4.3 運用管理		3.0	0.03		-			
1 CO ₂ の監視		-	-		-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00		-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.3
1 機能性		3.4	0.40	3.5	1.00			3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.57	-	-			
1 広さ・収納性			-		-			
2 高度情報通信設備対応			-		-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.38	3.5	1.00			
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-		-			
3 内装計画	温かみのある内装計画をした。	4.0	1.00	4.0	0.50			
1.3 維持管理		4.0	0.05		-			
1 維持管理に配慮した設計	建築材料、細部納まりを維持管理しやすい計画とした。	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保	各フロアに倉庫、掃除具庫を設けた。	4.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31		-			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

2.4 信頼性			2.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.3	0.29	3.8	1.00	3.6
3.1 空間のゆとり			4.0	0.05	4.6	0.50	
1	階高のゆとり		4.0	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	集:壁長さ比率0.12、住居:0.26	4.0	1.00	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.05	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.3	0.91	-	-	
1	空調配管の更新性	配管スペースを上下階同じ位置に設け、各パイプスペースには扉を設けている。	4.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	配管スペースを上下階同じ位置に設け、各パイプスペースには扉を設けている。	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.38	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			2.6	0.20	-	-	2.6
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.2	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		省エネルギーによる。 ERR=69.7	4.1	0.38	-	-	4.1
4 効率的運用			3.0	0.03	-	-	3.0
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	1.00	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.95	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.05	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.63	-	-	2.8
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	人工木デッキ材	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	床シート接着剤を予定。	4.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		3.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2による。	4.5	0.33	-	-	4.5
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車置き場、サービス駐車場を必要十分に確保。	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	市条例、共同住宅等建築物のごみ置場設置協議済。	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2	風害、日照阻害の抑制		1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	